

国東半島峯道トレイルクラブ

～令和6年10月31日(木)訪問～ 【国東市】



「国東半島峯道ロングトレイル」は、平成25年に国東半島宇佐地域が世界農業遺産へ認定されたことを契機として、国東半島の自然や歴史、文化などを観光・地域振興や雇用拡大に結びつけようと、六郷満山峯入行の行程をベースに、登山道や遊歩道を追加する等の工夫を加え、楽しく、心地よく歩けるトレイルとして再構築されたものです。九州で唯一、NPO法人日本トレイル協会のロングトレイルコースに認定されている当該コースは、豊後高田市の熊野摩崖仏から国東市の両子寺まで総延長135kmの間に10コースが設定され、自然体験や文化体験の付加価値が高いアドベンチャーツーリズムとして外国人にも人気があります。

懇談では、コースの維持管理のほか、ガイドの育成と派遣、プロモーション動画や英語版マップの作製、シンポジウムの開催といった皆さんの活動についてお聞きました。

また、スタートとゴール地点が異なることによる交通手段の確保やコースの一部に携帯電話の不通地域がある等の課題のほか、令和6年8月の台風第10号により大きな被害を受けたことなどもお聞きました。

自然と歴史、文化を生かした素晴らしい取組を続けていることに感謝を申し上げ、さらなる発展に向け、県も支援していきたいとお伝えしました。

懇談風景



関連分野における県の施策(令和7年度)

☆事業名:【新】地域未来創造総合補助金

事業概要:人口減少が進む中、魅力ある地域を未来へ継承するため、地域住民等が行う魅力ある地域づくりや特色ある取組を支援

予算額:5億円

☆事業名:【特】おおいた地域づくり活動支援事業

事業概要:特色ある地域活性化の取組の担い手確保・持続的発展を図るため、市町村から推薦のあった地域づくりに活躍しているひとや団体を登録し、活動紹介や参加者募集を行う特設サイトを開設

予算額:950万円

※【新】は令和7年度からの新規事業

【特】は本県の課題を解決し、新しいおおいたを創りあげる「新しいおおいた共創枠」

【六郷満山と神仏習合】

六郷満山とは、国東半島にある寺院群の総称のことです。奈良時代、宇佐神宮の御祭神・八幡大神の生まれ変わりとされる仁聞(にんもん)菩薩が半島各地に28寺院を開基したことにより、古来からあった山岳信仰や天台系修験、浄土思想などと融合した神仏習合の六郷満山文化が開花しました。宇佐神宮の庇護と影響のもと仏の里として隆盛を極め、現在も独特な仏教文化が脈々と受け継がれています。